

年度	月日	内 容	年度	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(%)	(人)	(億円)	(千円)	(千円)	(千円)	
				鉄道事業 営業損失	経営安定基金 運用益(利回り)	設備投資 額	修繕費	国債20年物の 利率(年度末) (※1)	社員数 (年度初時点) (※2)	売上高 (営業収益)	社員一人あた り 売上高 (※3)	1人あたり 給与(年収) (※4)	<参考> 北海道庁職員の 1人あたり 給与(年収)(※ 5)		
1987	4. 1	北海道旅客鉄道株式会社発足。	S62	▲ 535	498	(7.30%)	136	256	5.12%	13,000	919	7,100	4,545		
	7. 13	幌内線岩見沢～幾春別・三笠～幌内間運輸営業廃止・バス転換。													
	2. 1	松前線木古内～松前間運輸営業廃止・バス転換。													
	3. 13	青函トンネル開業。海峡線木古内～中小国間開業。青函連絡航路運輸営業廃止。													
1988	4. 25	歌志内線、砂川～歌志内間運輸営業廃止・バス転換。	S63	▲ 515	498	(7.30%)	185	304	5.03%	13,000	940	7,200	4,906		
1989	4. 30	標津線標茶～根室標津間・中標津～厚床間運輸営業廃止・バス転換。	H1	▲ 507	495	(7.26%)	166	212	6.75%	12,800	998	7,800	5,134		
	5. 1	天北線音威子府～南稚内間、名寄線名寄～遠軽間・中湧別～湧別間運輸営業廃止・バス転換。													
	6. 4	池北線池田～北見間運輸営業廃止。第三セクター転換。													
	7. 14	札幌駅高架下に商業施設「パセオ」を開設。													
	2. 10	「オホーツク流水ノロッコ号」運転開始。													
1990	9. 1	<u>ㄥ特急「スーパーホワイトアロー」運転開始。</u>	H2	▲ 484	489	(7.17%)	180	233	6.80%	12,300	1,050	8,500	5,500		
1991			H3	▲ 478	490	(7.18%)	199	210	6.05%	12,200	1,063	8,700	5,888		
1992	7. 1	「新千歳空港駅」開業。南千歳～新千歳空港駅間に新線開業。	H4	▲ 471	469	(6.87%)	171	217	5.43%	12,100	1,054	8,700	5,999		
1993	11. 28	ホテル「クロフォード・イン大沼」オープン。	H5	▲ 456	444	(6.51%)	186	189	4.73%	12,000	1,059	8,800	6,062		
	3. 1	<u>特急「スーパー北斗」運転開始。</u>													
1994	5. 16	函館線砂川～上砂川間運輸営業廃止。	H6	▲ 423	408	(5.98%)	158	176	4.29%	11,900	1,019	8,600	6,122		
	11. 1	札幌圏輸送改善。札幌～桑園間3線化。													
1995	9. 4	深名線深川～名寄間運輸営業廃止・バス転換。	H7	▲ 402	378	(5.54%)	146	166	3.74%	11,800	1,018	8,600	6,101		
	1. 10	<u>運賃改定実施。</u>													
1996	3. 22	<u>石勝線・根室線高速化事業完成。特急「スーパーおおぞら」運転開始。</u>	H8	▲ 379	337	(4.94%)	225	166	3.13%	11,800	1,047	8,900	6,125		
1997	鉄道・運輸機構による経営安定基金借入れによる運用益下支え措置～H13 4.99%			H9	▲ 366	324	(4.76%)	204	144	2.51%	11,300	1,024	9,100	6,206	
	6. 17	ホテル「ノースランド帯広」オープン。													
1998	11. 21	札幌駅と新千歳空港駅に「自動改札システム」導入。	H10	▲ 319	340	(4.98%)	154	173	2.53%	10,800	991	9,200	6,011		
1999	3. 11	<u>宗谷線高速化事業完成。特急「スーパー宗谷」運転開始。</u>	H11	▲ 298	312	(4.58%)	233	178	2.20%	10,300	977	9,500	5,977		
2000			H12	▲ 306	292	(4.28%)	117	160	1.78%	10,100	911	9,000	5,969		
2001	7. 1	ㄥ特急「ライラック」、快速「エアポート」の指定席に「uシート」導入。	H13	▲ 293	296	(4.35%)	147	164	2.05%	9,700	909	9,400	6,015		
	3. 16	<u>ㄥ特急「スーパーホワイトアロー」が旭川～札幌～新千歳空港間を直通運 転。</u>													
2002	鉄道・運輸機構による経営安定基金借入れによる運用益下支え措置～H23 3.73%			H14	▲ 287	297	(4.36%)	155	166	1.16%	9,400	902	9,600	5,721	
	12. 1	特急「スーパー白鳥」運転開始。													
	3. 6	<u>商業施設「JRタワー」グランドオープン。</u>													
2003	5. 31	<u>ホテル「JRタワーホテル日航札幌」オープン。</u>	H15	▲ 290	293	(4.30%)	132	175	1.96%	9,100	892	9,800	5,999	7,721	
	8. 1	「JR北海道インターネット指定席予約」サービスを開始。													
2004			H16	▲ 282	289	(4.25%)	121	176	1.95%	8,900	891	10,000	6,017		
2005			H17	▲ 320	290	(4.25%)	163	198	2.05%	8,700	886	10,200	5,966		
2006	4. 21	(北海道ちほく高原鉄道ふるさと銀河線営業廃止)	H18	▲ 311	339	(4.97%)	148	212	2.09%	8,500	889	10,500	5,937		
	11. 1	駐車場複合商業ビル「JR55SAPPORO」開業。													

年度	月日	内 容	年度	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(%)	(人)	(億円)	(千円)	(千円)	(千円)	
				鉄道事業 営業損失	経営安定基金 運用益(利回り)	設備投資 額	修繕費	国債20年物の 利率(年度末) (※1)	社員数 (年度初時点) (※2)	売上高 (営業収益)	社員一人あた り 売上高 (※3)	1人あたり 給与(年収) (※4)	<参考> 北海道庁職員の 1人あたり 給与(年収)(※ 5)		
2007	4. 28	特急「旭山動物園号」運転開始。	H19	▲ 300	273	(4.00%)	155	195	2.09%	7,900	893	11,300	5,886		
	10. 1	L特急「スーパーカムイ」運転開始。													
2008	10. 16	ホテル「JRイン札幌」オープン。	H20	▲ 287	231	(3.39%)	133	180	1.94%	7,700	882	11,500	5,813	6,791	
	10. 25	ICカード乗車券「Kitaca」サービス開始。													
	3. 14	「Kitaca電子マネー」サービス開始。													
2009			H21	▲ 275	242	(3.56%)	115	183	2.17%	7,500	847	11,300	5,617		
2010			H22	▲ 284	240	(3.53%)	103	189	2.06%	7,300	826	11,300	5,573		
2011	鉄道・運輸機構特例業務勘定の利益剰余金等を活用した実質的な基金積み増しによる措置 ～H43 基金の積み増し 2,200億円 年利2.5% 年間55億円の利息収入			H23	▲ 334	235	(3.44%)	192	229	1.75%	7,100	821	11,600	5,540	
	鉄道・運輸機構特例業務勘定の利益剰余金等を活用した老朽化した施設の更新等の設備投資へ の支援～H28 総額600億円(助成金1/2、無利子貸付1/2) ※償還期間：10年据置10年元金均等償還														
	5. 27	石勝線清風山信号場構内で列車脱線火災事故が発生。													
	6. 18	国土交通大臣より「安全輸送の確保に関する事業改善命令」、鉄道局長より「保安監査の結果等による改善指示」を受領。													
9. 16	「事業改善命令、改善指示に対する改善措置及び安全性向上のための行動計画の報告書」を国土交通省へ提出														
2012	6. 1	札沼線高速化事業完成。学園都市線桑園～北海道医療大学間電化開業。		H24	▲ 335	254	(3.72%)	168	244	1.41%	7,000	843	12,000	5,526	
	11. 14	「安全基本計画」策定。													
2013	8. 6	「石勝線清風山信号場構内における列車脱線火災事故に係る勧告」に対する「講ずべき措置に関する実施計画書」を運輸安全委員会へ提出。		H25	▲ 400	341	(5.01%)	237	277	1.51%	7,100	827	11,600	5,444	6,642
	9. 19	函館線大沼駅構内で貨物列車脱線事故が発生													
	9. 21	脱線箇所について社内規程どおりに線路の補修がなされていなかった事象が判明し発表。													
	1. 24	国土交通省から「輸送の安全に関する事業改善命令及び事業の適切かつ健全運営に関する監督命令」を受領。													
2014	5. 11	江差線木古内～江差間運輸営業廃止。		H26	▲ 414	363	(5.33%)	437	274	1.13%	7,200	825	11,500	5,318	
	6. 12	「JR北海道再生推進会議」を設置。													
	7. 23	「事業改善命令・監督命令による措置を講ずるための計画」を国土交通大臣へ提出。													
	9. 19	「保線安全の日」を制定。													
	3. 20	「安全投資と修繕に関する5年間の計画」を国土交通省へ提出。													
2015	4. 1	「JR北海道グループ経営理念」「社是」改定、行動指針「私たちの誓い」制定。		H27	▲ 482	349	(5.10%)	403	314	0.44%	7,200	838	11,600	4,900	
	10. 1	「ロワジュールホテル旭川」を売却。													
	11. 2	「クロフォード・イン大沼」を売却。													
	3. 26	北海道新幹線新青森～新函館北斗間開業。													
2016	鉄道・運輸機構特例業務勘定を通じた追加支援～H30 「安全投資と修繕の五年間の計画」に基づき行う追加支援 総額1,200億円(設備投資600億円(助成金1/2、無利子貸付1/2)、修繕費600億円(無利子貸付) ※償還期間：20年据置20年元金均等償還			H28	▲ 534	236	(3.47%)	269	337	0.64%	7,100	894	12,600	-	
	5. 27	「安全再生の日」制定。													
	7. 29	「持続可能な交通体系のあり方」について発表。													
	11. 18	「当社単独では維持することが困難な線区について」発表。													
	12. 5	留萌線留萌～増毛間運輸営業廃止。													

(※1) 利率出所：財務省 / (※2) 各年度初の公表値 / (※3) 売上高÷社員数(十万円未満四捨五入)

(※4) 鉄道事業等報告規則に基づく「鉄道事業実績報告書」(第2号表)を参照。(H27は速報値)

なお、年間給与総額(①基準賃金、②基準外賃金、③臨時給与の和)を延べ人員で除することで求められる1人1ヶ月平均額を12ヶ月分乗じて算出(単位未満切り捨て)。

(※5) 調査対象の職員に対して対象年度に支給された給与の総額を職員数で除して算出。